

会 議 概 要

会議名	令和7年度第3回平塚市博物館協議会		
開催日時	令和8年3月24日（火） 14時～16時10分		
会場	平塚市博物館講堂		
出席者	委員6人（小倉会長、藤吉副会長、金子委員、広谷委員、山田委員、大田委員） 事務局6人（社会教育部長、博物館長、学芸担当長、管理担当長、学芸担当主任、管理担当主管）		
議 題	1 報告事項について 2 令和8年度予定について 3 協議事項 4 その他		
公開・非公開	公開	傍聴者	なし
【審議等概要】			
1 報告事項について			
(1) 令和7年度秋期特別展について、次のような意見をいただいた。 <ul style="list-style-type: none"> ・展示解説ボランティアをしているが、特別展の来館者の多さに驚いた。地学をテーマにした人気の漫画の影響で、岩石や鉱物の成り立ちに興味を持つ若年層や若い女性が増えた可能性が考えられる。 ・アンケートは、関心が高い人が積極的に回答する傾向があり、回答者層にバイアスがかかる懸念がある。このようなバイアスを考慮し、アンケートはパーセンテージで量的に分析するのではなく、個々の意見や感想といった内容を質的に分析するほうが適切であると考えます。 ・展示コーナーの構成が来場者の図録購入への動機付けとして効果的であった。 ・学校に掲示されたポスターを見て来場したという声があり、喜ばしいと感じた。 ・アンケート回答数が通常より多く、驚きとともに興味の範囲が広がっている証拠である。次回の50周年記念展では更に多くのアンケートが集まることを期待している。 			
(2) 第25回博物館文化祭について、次のような意見をいただいた。 <ul style="list-style-type: none"> ・民俗探訪会の「お魚屋さんの調査」の展示が非常に面白かった。古いものを調べるイメージが強いため、現代的なテーマが示されるとワーキンググループへの参加意欲を高めるきっかけになる。 ・平塚の商店街の衰退と「商都」であった痕跡の保存の重要性を再認識した。 ・2月8日の発表会は大雪警報で中止になり非常に残念だった。各ワーキンググループには負担かもしれないが、活動報告等をYouTubeで配信する等、来年の活動報告に期待する。 ・TwitterやYouTubeのコメント機能等を活用することで、アンケートを書くには至らない「心の声」の可視化に繋がると考える。アンケートだけではない多様なツールを用いて感想や意見を吸い上げる仕組みを検討すべきである。 ・市民が気軽に意見を報告できる方法を確立する必要があるし、博物館側でそれらの意見を受けどう記録していくかという点も検討課題である。 			
2 令和8年度予定について			
(1) 令和8年度当初予算について、M50焼夷弾レプリカの作成目的と費用について質疑応答が行われた。			
(2) 令和8年度事業計画について、情報コーナーで実施する高校生の研究発表展示の年度区分について質疑応答が行われた。			
3 協議事項について			
・特定のテーマについて深く議論する場として「協議事項」の枠を新設し、第1回の協議事項として「博物館ワーキンググループ活動のあり方について」がテーマとなった。共通の課題に「高齢化」と「新規会員の獲得難」があることが指摘された。また、博物館の役割を踏まえ、地域課題解決の視点からワーキンググループのあり方を見直す提案などがされた。			
4 その他			
(1) 劣化度等調査業務委託について、事務局から説明を行った。今後は調査結果の報告を受け、建物の修繕・更新・改修の必要性や実現性を判断し、概算事業費を算出する。その後、基本計画を策定し、最終的な方向性は庁内調整を経て判断する。			
(2) 開館50周年記念事業について、特別展、記念講演会、記念式典、記念看板の設置、記念グッズの製作・販売を行う説明を事務局から行った。			
(3) 事務連絡等 <ul style="list-style-type: none"> ・新年度、第1回は5月頃予定。記念式典についても後日、書面で案内予定。 			
問合せ先 (事務局)	平塚市教育委員会 社会教育部 博物館 管理担当 電話番号 0463-33-5111 (代)		